

宮城県林業普及活動情報

2026. 8 月号 No. 219

もくじ

各地の林業普及活動情報

P2~7

- 原木しいたけ施設栽培者への管理支援
(大河原地方振興事務所)
- 森林経営管理制度の推進に向けた打ち合わせ会
(大河原地方振興事務所)
- 大河原産業高等学校環境科学科への実習支援
(大河原地方振興事務所)
- 菌床しいたけ生産者への支援
(仙台地方振興事務所)
- 林業教室実地研修の実施
(仙台地方振興事務所)
- ウルシ林の下刈りの実施
(北部地方振興事務所)
- 松くい虫被害対策への支援
(北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- ナラ枯調査の実施
(北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 建材企業及び製材所へのヒアリング
(東部地方振興事務所)
- 「宮城県森林経営管理制度」登米圏域推進会議の開催
(東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 気仙沼メンマ製造支援
(気仙沼地方振興事務所)
- みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 林業教室選択講座Ⅲ (林業機械：基礎)
(林業技術総合センター)

原木しいたけ施設栽培者への管理支援

大河原地方振興事務所

【18日(火)・19日(水)・20日(木)・24日(月)】

原木しいたけの施設栽培に取り組んでいる各生産者の施設について、今年度から必要となる栽培管理の一助となるよう施設の管理状況などについて巡回指導を行いました。

また、作業マニュアルや栽培管理の記録方法を確認するとともに、食の安全・安心を確保するため、適切な管理のもと栽培に取り組まれていることが確認されました。

引き続き、安全安心な食品の生産について、関係機関と連携し、取り組んでいきます。



【施設確認の様子】

森林経営管理制度の推進に向けた打ち合わせ会

大河原地方振興事務所

【26日(水)】

丸森町では、制度開始以降、地元森林組合と連携しながら計画的に意向調査や集積計画の作成、森林整備を進めています。今後、さらに制度を推進していくに当たり、本庁及びサポートセンター協力のもと、改正法の概要や他地域での事例も紹介していただきながら、具体的な事務手続きや進め方について打ち合わせを行いました。

当日は、打ち合わせで意見を出し合う中で、町の体制や状況に合った効率的な方法が把握でき、非常に有意義な打ち合わせとなりました。

当事務所では、引き続き管内の森林経営管理制度の推進に向け、関係者と連携しながら、各市町の取組支援を行っていきます。



【打ち合わせの様子】

大河原産業高等学校環境科学科への実習支援

大河原地方振興事務所

【8月4日（火）・6日（木）】

本県で唯一林業の専攻科を持つ宮城県大河原産業高等学校環境科学科の2年生及び3年生を対象に、今年度も実習支援を行いました。

2年生には、森林・林業に関する基礎知識や専門的な技術、作業現場に関する理解を図るため、森林・林業に関する基礎知識に関する座学を行った後、同校の演習林にてブルーメライスや超音波樹高測定器を用いた森林計測の実習を実施し、森林林業の基礎知識について指導しました。また、林業普及指導協力員である川崎町森林組合職員を講師として、同組合の皆伐施業現場の見学や出材した丸太の検知作業体験、高性能林業機械の操作体験を行い、林業の作業現場に関する理解を深めてもらいました。

3年生には、木質バイオマスの活用に取り組む七ヶ宿町において、木質バイオマスの生産流通や利用に取り組む事業体等の現地見学を行ったほか、今後木質バイオマス等で利用が期待される早生樹の植栽に取り組む事業体の植栽現場の見学と、生育調査の実習を行いました。

実習後、実際に現場に足を運び、従事者や関係者から直接、見聞きししてもらったことで、森林・林業への興味・関心と知見を広げる一助となったとの感想を聞くことができました。

今後も同校への森林・林業に関する実習支援等を実施し、森林・林業への興味・関心を持ってもらうことで、林業・木材産業等への就職に繋げていきます。



【2年生実習の様子】



【3年生実習の様子】

菌床しいたけ生産者への支援

仙台地方振興事務所

【26日（水）】

特用林産施設等体制整備事業においては、今年度から「菌床きのこ栽培管理ガイドライン」に沿って、培地基材の放射性物質濃度測定による安全性の確認を行い、各工程において「チェックシート」及び「記録シート」を作成することとなりました。

事業体が初めて取り組む内容のため、普及指導員から、ロットの管理記録、チェックの工程について説明し理解を得ることが出来ました。

同補助事業を活用している管内全ての菌床しいたけ生産者の理解が得られるよう、ガイドラインの丁寧な説明に努めていきます。



【栽培管理の記録について説明】

林業教室実地研修の実施

仙台地方振興事務所

【21日（金）】

林業に関する総合的な知識・技術の習得を図り、地域の指導的な人材を育成するため、管内の森林組合等に所属する経験の浅い林業従事者等を対象に林業教室実地研修を実施しました。

研修内容は、予め受講生のニーズを聞き取りした結果を反映し、林業種苗・造林・間伐、森林計画、林業労働安全の基礎知識に加え、森林整備事業における現場での留意点やUAVの活用について講義を行いました。

講義後の振り返りでは、「特に林業種苗と森林整備の現場を実際に目で見て、現場の声を聞いたことで理解が深まった」との声が多く得られました。



【講義の様子】



【実地研修の様子】

ウルシ林の下刈りの実施

北部地方振興事務所

【19日（木）、25日（水）】

昨年、大崎市鳴子温泉鬼首に120本植栽したウルシ林で下刈りを行いました。

ウルシの樹液は伝統的工芸品である鳴子漆器に欠かせない材料ですが、現在使われている樹液は外国産が一般的です。そこで、当事務所では、将来的に地元産の木地と樹液を使用した鳴子漆器を製作できるよう、ウルシの育成を行っています。

ウルシはまだ樹高30cm程度と小さく、周囲の植物に完全に覆われていたため、下刈りは機械によらず手鎌で丁寧に行いました。猛暑の中の大変な作業でしたが、早く大きくなって伝統的工芸品を支える礎になってもらえるよう、これからも大切に育てていきます。



【植栽されたウルシ】

松くい虫被害対策への支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【17日（月）】ほか

管内寺院の境内松1本（クロマツ・直径30cm）について初夏以降、葉が褐変したことで、原因究明の相談があったので、マツノザイセンチュウ罹患検査を林業技術総合センターに依頼しました。結果は陰性だったため、依頼者（寺院：マツ管理者）へ伝えるとともに、一時的な樹勢の衰退とも考えられたため、引き続き、経過観察をお願いするとともに、必要に応じて、回復方法の助言を検討します。



【枝枯の状況】

ナラ枯調査の実施

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【5日（水）】

ナラ枯れ被害が連年的に継続していることから、栗原市と連携して今年の被害状況を調査しました。

今夏は全般的に雨が多く、被害は少ない予想でしたが、実際には、昨年と同じ箇所での被害発生が多く、山の上部などで駆除も難しい状況がうかがえました。今後は対応の優先度を見極め、市へ駆除対策を働きかける予定です。



【被害調査の様子】

建材企業及び製材所へのヒアリング

東部地方振興事務所

【7日（金）、18日（火）】

中東情勢の影響や最近の事業動向等を把握するため、管内の建材企業及び製材所に対してヒアリングを実施しました。

接着剤等の資材については、価格は高騰しているものの、調達はできていることがわかりました。また、住宅着工数が減少し事業量が減少している中、地元の中小建設業や工務店、大工との関係を大切にしている様子を知ることができました。

今後も適宜訪問等を実施し、情報共有を密にしていきたいと思います。



【製材所ヒアリング】

「宮城県森林経営管理制度」登米圏域推進会議の開催

東部地方振興事務所登米地域事務所

【18日（火）】

登米市の森林経営管理制度の円滑な運用を促進するため、令和8年度第1回目となる圏域推進会議を開催しました。会議では、令和7年度 of 取組実績と令和8年度の進捗状況を確認するとともに、市町村森林整備計画、FSC森林認証を一体的に運用する「登米市方式」の方向性について検討しました。

登米市方式では、森林経営管理実施権集積計画の策定と同時に保育間伐による森林整備を実施し、計画期間（10年）満了後は、「防災機能」と「経営林」に分類した上で、経営林は森林組合の森林経営計画とFSC認証森林への組み入れ、経営管理を継続することで会議参加者の合意形成が図られました。



【会議の状況】

気仙沼メンマ製造支援

気仙沼地方振興事務所

【17日（月）】

当事務所では、「おいしく食べて放置竹林を減らす」取り組みとして、5月に気仙沼市内でメンマづくり体験会を開催しました。体験会でゆでて、塩漬けた幼竹は、発酵液に1ヶ月半ほど漬け込んだところ、十分に柔らかくなったため、生産者と共に天日干し（乾燥作業）を行いました。9月には完成する予定です。今後はイベントなどの機会を通じて試食会を行い、気仙沼メンマの魅力を発信していきます。



【メンマの乾燥作業】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 林業教室 選択講座Ⅲ（林業機械：チェーンソー）」

林業技術総合センター

【5日（水）】

林業教室の選択講座Ⅲ（林業機械：チェーンソー）を開催しました。

午前には林業技術総合センター職員より、安全なチェーンソー作業について講義し、午後からは実際にチェーンソーを使用して実習を行いました。

受講者にはチェーンソーの使用経験のない方もいましたが、受口・追口の作り方の練習や安全装備の注意点、作業中の安全確認の手順など、じっくりと身に付けていただくことができました。



【チェーンソー操作練習状況】